

○ 戸山郵便局前バス停

約1.1km
1 炭焼窯 (すみやきかま)



木炭は、昭和30年頃まで暖房や調理用の貴重な燃料として使われ、多くの農家では炭焼窯を設けて冬季に炭焼きをしていました。その後、木炭の利用は激減しましたが、近年、木炭の良さや里山整備が再び見直され、炭焼きが静かなブームとなっています。この炭焼窯は、地元の同好会の人たちにより再現されたものです。

○ 戸山民俗資料館 (とやまみんぞくしりょうかん)



戸山の民俗資料を後世に残すため、昭和9年建造の旧戸山郵便局舎を平成14年に改装したものです。戸山民俗資料保存会により、郷土出身者の図書や民具、農具等約1,000点が収蔵・展示・一般公開(入館無料)されており、展示品のポストや電話交換機が往時をしのばせます。

[開館日] 毎週水曜日、第2・第4土曜日 [開館時間] 午後1時30分~3時30分

○ 阿刀神楽伝承館 (あとかぐらでんしりょうかん)



古い歴史をもつ阿刀神楽(広島県無形民俗文化財指定)が後世に受け継がれることを願い、平成10年に県、市の補助金と地区全体からの支援で建てられました。館内には、衣装や道具の収納室・舞殿が設けられ、神楽団や子どもたちの練習場に使われています。

○ 阿刀明神社 (あともしょうじんじや)



1300年頃の楽音寺神名帳の佐東郡四位十一前の中に阿刀明神の名があり、「芸藩通志」には、八幡宮と弁財天の二社として記されています。天保8年(1837年)に、この両社を併し八幡宮と称し、明治4年(1871年)には旧称である阿刀明神社に復したといわれています。ヒノキ、スギ、モミの大き木が繁茂している社叢は、広島市の天然記念物に指定されています。また、石畳舗装の参道や水路の中洲に植えられた季節の草花に心和む風情があります。

○ 浄宗寺 (じょうしゅうじ)



元亀元年(1570年)に道順法師により真言宗遍照院養楽寺が創建されました。天正13年(1585年)の浄土真宗改宗を機に、岡尾山浄宗寺と称し、明暦2年(1656年)に現在地に移転したと伝えられています。

○ 若杉慧顕彰碑(野仏の塔) (わかさげけんしりょうひ)



「エデンの海」や「野の仏」などの著書で知られる戸山出身の小説家・若杉慧の顕彰碑は、梵語の阿の字が刻まれた、石臼を素材としたユニークなつくりであり、碑文も興味深いものです。若杉氏に関する資料や著書は、戸山民俗資料館に収蔵されています。

○ 忠央バス停

主な参考文献
沼田町史/広島県神社誌/沼田歴史の散歩道(沼田歴史散歩の会)/戸山ものがたり(戸山ものがたりをつくる会・戸山公民館)/戸山カルチャーマップ(戸山カルチャーマップ作成委員会・(財)広島市ひと・まちネットワーク広島市戸山公民館)/わが街再発見(広島市戸山地区民俗資料保存会)/広島市森林公園昆虫館資料/そのほか社寺の現地の解説文など



安佐南区 まちめぐり憩いの空間ルート研究会 ato 阿刀神楽(せきの舞)

まちめぐり憩いの空間づくり事業について

安佐南区では、区の魅力を高める「魅力づくり事業」の一つとして、自然、歴史、まちなみ、施設、住民活動、祭りなど、地域の特徴ある資源を生かしたポイント(空間)や、これらをつなぐルートづくりを区民の皆さんと一緒に進めていくとともに、このルートを区民の皆さんの様々な活動に利用していただく「まちめぐり憩いの空間づくり事業」を進めています。

このマップは、平成20年度に開催された「まちめぐり憩いの空間ルート研究会」において、対象地区に在住の方を含む区民メンバーが調査・検討した結果をまとめたものです。ルート構想は合計18本あり、平成20年度に実施した阿戸、吉山ルートを合わせた18ルート全てがまとめられています。



■公共交通機関をご利用になる場合は、第一タクシーの路線バス「くすのき台・戸山線」をご利用ください。アストラムライン大原駅から1時間に1往復程度の頻度で運行されています。※運行時刻、所要時間、経由地などは、運行会社にご確認ください。

あさみなみ散策マップ ~阿戸ルート~
発行: 広島市安佐南区役所 区政振興課 TEL:082-831-4926
制作協力: まちめぐり憩いの空間ルート研究会・戸山公民館
発行年月: 平成21年(2009年)3月

阿戸ルートとその周辺について

● 阿戸地区について ●

太田川に注ぐ吉山川の両側に散村のような形態で家屋が広がる阿戸地区は、戸山中学校や小学校、戸山公民館、戸山郵便局、戸山駐在所などが集まっており、機能上、戸山地区の中心的な役割をなしています。地区内には、農家が多く、ほとんどの神社や寺院が集落を見渡すことのできる小高い場所にあるなど、田と山林に囲まれた静かな環境が多く残る地域として、かつての農村の原風景をみることができます。

明治22年(1889年)、当時の沼田郡阿戸村、吉山村の2つの村が合併して戸山村が誕生し、昭和30年(1955年)には隣接する伴村と合併して町制をしき、沼田町となりました。昭和46年(1971年)には広島市に編入され、昭和55年(1980年)の政令指定都市移行によって、現在の安佐南区の一部となっています。

● 阿戸地区の営み ●

四季の特徴に彩られた様々な地域活動の中に、人々とともに歩んできた阿戸地区の営みを垣間見ることができます。

春はこの地域でたくさん採れる山菜を活かした「山菜祭り」、夏は「鮎の放流」や子どもたちが楽しむ「川遊び」、秋は阿刀神楽[※]などが奉納される「秋祭り」、冬は各地域でとんどが行われており、その中でも「安佐南区とんど祭り」は安佐南区を代表する行事のひとつとなっています。四季を感じ、地元でのふれあいを深めながら、伝統を守り続けるという、日本のどの地域でもみられた営みが阿戸地区には残されています。

※阿刀神楽は、文化元年(1804年)、宇高宗助という武芸の達人によって柔術の型を取り入れたとされ、宇高直次などが現在の基本型にまとめたと伝えられています。十二の演目によって構成される「十二神祇系」の神楽であり、技術的に優れているだけではなく、最後に舞われる「將軍」は、「託宣(神のお告げ)」が行われ、古い形式をよくとどめています。昭和40年に広島県無形民俗文化財に指定され、昭和55年には、文化庁から「記録作成の措置を講ずべき無形の民俗文化財」の選定を受けています。



正しい歩き方

せっかく歩くなら、正しく歩いて「健康ウォーキング」にしませんか?

胸を張り、背筋を伸ばし、肩の力を抜いてリラックス

つま先で蹴る

かかとから着地

あごを引き、目線はまっすぐやや遠くを見る

呼吸は自分のリズムで...

肘(ひじ)をやや曲げ腕を大きく振る

おなかを引き締める

膝(ひざ)を伸ばして大きく前へ

ウォーキングは・・・
肥満・高血圧等の生活習慣病を予防・改善するだけでなく、脳の活性化により、認知症や老化の予防、筋力アップによる転倒予防にも効果的です!

元氣じゃけんひろしま21
~安佐南区では、「健康ウォーキング」を推進しています!~

この印刷物は再生紙を使用しています

○ 忠央バス停

約0.4km
1 岩鼻神社 (いわはなじんじや)



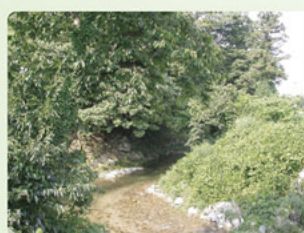
祭神は、^{くにのくにたちのかみ}国之常立神で御神体は金石と御神鏡です。天保2年(1831年)再建の棟札が残っています。参道からは、四季折々の田園風景が展望できます。

○ 貴船神社 (きふねじんじや)



祭神は、高麗神と記録にあり、400年以上前に京都にある貴船神社より勧請されたといわれています。また、安永2年(1773年)再興の古い棟木が残されています。この付近は干ばつの害を受けやすく、雨ごいの神・五穀豊穡を祈る神として祭られ、境内には古きを物語る杉の大木がそびえています。

○ 太夫淵(たゆうぶち)とその周辺



伝説によると、神主(太夫)が馬に乗っての帰途、淵に流れてきた手盆を取ろうとしたときに、化けていたエンコウ(猿ともかっぱともいわれる)に引き込まれたといわれています。そこからこの淵は、「太夫淵」と名付けられました。また、ここから「④石灯籠」までの道中は、県道より一本奥に入っていることもあり、のんびりと田園風景を楽しむことができます。

○ 石灯籠 (いしとうろう)



阿刀明神社境内の西側と北側に「弘化三年丙午八月」(1846年)と刻み込まれた石灯籠があり、ここ西郷坂の県道すぐ側にも石灯籠が立っています。何れも形がよく似た、高さ4メートルくらいの石灯籠です。当時は、天保の飢饉後で、盆踊りが何よりも楽しみであり、石灯籠に灯りをともして踊り、豊作と無病息災を祈ったと伝えられています。

○ 三面石積み水路



水路の両側面と底面の3面とも石積みとしたものです。昭和30年代頃までは、どこにでもありましたが、最近はコンクリート張りの水路が増え、石積みの水路は少なくなりました。周辺の伏流水を取り込んだり、サワガニやカワニナ(ホテルの幼虫のエサとなる巻貝)など多くの動植物の生息場所として「環境にやさしい水路」となっています。

○ 広沢隠岐守 美濃・善左衛門の墓 (ひろさわおきののみ の・ぜんざえもん のはか)



沼田町内の山城のほとんども、武田氏に関するものといわれています。「芸藩通志」には、そのひとつについて「阿戸村にあり、弾正が家人所保といふのみにて、名を伝へず、或は広沢美濃ならんともいへり」と記されています。かつて、岳山に出城の「きつねが城」があり、やぐらに上って見張りをしていた二人の武士の言い伝えがありました。二人の墓は、山中にあったのを、現在の位置に立てかえてあります。

○ 高浜バス停

<寄り道コース>



金毘羅神社、金毘羅神社の石段、高浜橋付近からの眺め

阿戸下ルート (総延長約4.2km)

1. ①②③の道標を見付けよう！ それぞれ何と刻まれているのかな？

2. 阿戸下ルート ④石灯籠と同じような石灯籠が阿戸上ルートに2ヶ所あるよ！ 行ってみよう！！

田の畦や畑、藪、草むらの中を歩くときには、マムシに注意しましょう！

山ぎわなどクマが出る可能性があるので、注意しましょう！

四季折々の花(彼岸花) 田園風景(③太夫淵～④石灯籠間) 一本橋の見える風景 一本橋の見える風景 一本橋の見える風景

道標① 道標② 道標③ 道標④ 道標⑤

金毘羅神社 観音堂・遊慈院跡 地藏 河成八幡宮 高浜橋 阿戸下集会所 郷坂 東峯人翁頌徳碑 岳山 岳山登山口

至安佐北区久地方面

阿戸上ルート 湯来町方面 慈光保育園 出雲

新宮神社

四季折々の花(アジサイ) 遠くまで広がる田園風景 岳山

阿戸上ルート (総延長約3.4km)

阿戸上ルートを迷わず歩くポイント！ マップにある家屋や橋の位置を確認しよう！

戸山民俗資料館 勉強になりますよ。

1. 炭焼窯 2. 戸山民俗資料館 3. 阿刀神楽伝承館 4. 阿刀明神社 5. 浄宗寺 6. 若杉慧顕彰碑(野仏の塔)

地元の熱意で地域の子どもたちに阿刀神楽を伝承しているんじゅの。大切な文化じゃからいつまでも残しておいてほしいの。

八坂神社 秋祭り 幸智神社 戸山集会所 安佐南区役所 戸山連絡所 役場橋 PB 戸山郵便局前 戸山公民館 薬師堂 大年神社 大原神社 大富繁一翁頌徳碑 中央橋 戸山小学校 戸山中学校 戸山学校前 戸山公民館 三王原会館 三本柿 神原 石灯籠 宇高直次の石碑 有馬幸智神社 石灯籠 三好重夫翁景仰碑 石灯籠 宇豆八幡神宮跡 道標 幸智神社 若杉谷稲荷神社

湯来町方面 湯来町方面

0 50 100 200 300m

雪景色 四季折々の花(紫陽)

●記号の説明●

まちなめぐりルート
0.3 区間の距離(単位:km)
車道
徒歩道(山道など)
河川・水路

神社、寺院
碑、その他由来のあるもの
特徴ある風景
眺望場所
社叢・樹木
見学できる場所
特徴的なお店

バス停留所
ガソリンスタンド
郵便局
交番
トイレ
目印となるポイント

※注) 資源名で示したものは裏面に解説があります。

戸山の生き物たち

キアゲハ カワセミ トリアカエリ
メジロ ツンツル ナメコ

自然豊かな四季折々の表情

戸山地区の自然の中に見ることができる四季折々の表情。訪れる度に異なる表情を与えてくれるひとつひとつの景色は、どこか懐かしい表情として、私たちの心を癒してくれます。

春 夏 秋 冬

四季の移り変わり